

磐城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四
印刷部 印刷人 岡田弘成
編輯部 編輯人 岡田弘成
發行部 發行所 磐城時報社
電話 一四一四
廣告料 一行一ヶ月金五拾錢
▲日刊（日曜祭日）休刊

失業者の登録 三百名に達せん

三十日正午で二百七十名

平町新川改修工事に使役する勞田中經理課長等の一行六名は二
働者は去る二十六日から平職業十八日茨城縣の無煙炭礦を視察
紹介所に於て平町内に居住するして同夕刻來縣平町住吉屋本店
失業者の登録を開始したが、最に一泊、二十九日は石城郡赤井
初の豫想では二百名内外であら村小田炭礦その他の炭礦を詳細
うと言はれてゐたが、三十日正午に調査した上参考となるべき種
午まで二百六十五名に達し尙ほ
續々と失業者が殺到する有様で
あるから或ひは三百名に達する
ではないかといはれてゐる。

東鐵局長 常磐炭礦視察

常磐炭礦の鐵道運賃値下運動が
漸次好轉の線上を進みつつある
ことは慶報の如く炭礦生活者の
役員は左の如く決定。
眞の窮狀を詳細に調査視察の要
あるため東京鐵道局新井局長、
光。

共濟會長 山崎氏に決定

石城郡下町村共濟委員會は
この程平町第三小學校に開き規
約制定、役員選舉を行つたが、
役員は左の如く決定。
會長 山崎清三、副會長 遠藤心
光。

石城地方の養蠶家 不正商人を警戒

京都製糸の進出で 繭價日に増し奔騰

繭糸奔騰から黄金狂時代に酔つが跳梁し却て當業者を渺からず
てゐる石城地方養蠶家の各特約組合に年三十萬貫の大口買筋で
組合を繞つて晩秋繭出廻り期を中心に年三十萬貫の大口買筋で
際へ茨城縣是、片倉製糸、ある京都製糸が漸次流通
公設市場等の猛烈な争奪戦が進出を企て盛んに各特約組合に
開始され、この間に不正商人對し買廻つてゐるので石城の養

桑苗の摘葉 嚴罰に處す

石城郡養蠶同業組合では政府の
野崎、猪狩、大森各氏も
紀念品代を寄附

野崎、猪狩、大森各氏も 紀念品代を寄附

町會議員青沼隆太郎氏は紀念品で義捐金募集に着手せぬうち十
代として贈られた二十圓を公共園を北海道、五圓を北滿洲羅災
事業に寄附した事昨報の如くで者に寄附する事となり三十日關
あるが、更に左の各氏も夫々平内區長が町役場を訪れ取次方を
町役場を通じ二十圓を寄附した依頼した。尙ほ長橋町區では三
▲十圓共濟會助成、金五圓平内、月見町區では五圓を北滿洲
人事相談所 ▲二十圓共濟會助成、水害義捐金に寄附した。
成金、猪狩庄平、▲同大森勇

盛岡農林生 石城郡視察

盛岡高等農林學校生徒十三名は
藤吉縣農林技師の案内で十月一
日福島市から來郡赤井、平窪兩
村果樹園を視察し神谷村農事試
験分場を見學する。

紺屋町區で 水害義捐金

平町紺屋町區では北滿洲及び北
海道方面水害狀況を知り町役場
余の増を示してゐる。

無錢飲食の常習犯 喧嘩を吹かけて立去る

カフエー・スターで捕はる

相馬郡小高町大字大井立屋渡
邊菊次郎(四七)は二十八日午後
十一時頃平町白銀町カフエー・ス
ター北郷トク方に至り二圓七
十錢分を飲食し二十九日午前
一時頃になつて家人に喧嘩を吹か
け立去らうとする處を平署員に
捕はれたが、同人はこの手段で
各所で無錢飲食を働いてゐたも
のである。

酒六合をのむ 懷中無一文

當時住所不定無職兵庫縣生れ中
島源治(四四)は二十九日午後八
時頃平町紺屋町鈴木武方で酒六
合、罐詰一個を平げ懷中無一文
なので平署に突き出された。

無免許で運轉 石城

那郡村驛前上遠野商店事務員田
邊文彌(二二)は無免許でサイド
カー自動自動車を運轉し二十
八日平區から路式で罰金二十圓
に處せられた。

珍無類の 村會の提案

双葉郡大久村山林疑獄事件で柳
井村長外村會議員は平區檢事局
の取調を受けたが、その翌二
十七日急遽村會を開き柳井村長
から召喚取調られた村會議員の
慰安に關する件を突然提案した
ので反對派の村會議員等はこれ
無見識と無謀にあきれ返り一齊
に退場した。め流會となつた。
一方これを聞いた村民は憤慨し
村民大會を開き徹底的に糾明す
ると意氣まいてをり問題はます
大きくなるやうである。

四倉市場取引 四倉

四倉市場二十九日取引は九百五十
五貫で最高六十一圓八十錢、最
低四十五圓七十錢、平均五十三
圓四十錢であつた。

山田村の男 石川で泥棒

石城郡山田村窃盜前科二犯佐藤
末次郎(二八)は去る八日夜石川
町館ヶ岡旅人宿會田勇一方に窃
盜の目的で忍び込み家人に發見
されて逃走、同町猫鳴地内山中
炭小屋に潜伏中二十八日石川署
員に捕はられた、同人は會田方
を襲つた足で同町新町旅館溝井
たけ方からゴム靴一足を窃取し
た外十一日夜は東白川郡宮本村
田谷孝吉方に忍び込み煙草入を
窃取、更に西白河郡釜子理髮業
伊藤清方から刈鎌一挺を窃取し
た事を自白した。

預り品を入質 小名

濱町古港四十一番地竹中茂右衛
門(五〇)は去る六年九月申下宿
させておいた東京府下中野西町
廿九番地興行師岩間政義が預け
て行つた所持品中から衣類五點
を窃取し同町字中島木田質店に
四圓五十錢で入質したので平署
に檢擧された。

平驛の貨物取扱 前年度より増加

赤字！ 赤字！ の洪水に氣を
もんでゐた平驛の貨物の動態は
近來順に活氣を呈し好結果を數
字が物語つて居る。即ち九月中
旬の成績を見れば、
▲到着 一、八三八噸
▲發送 一、二〇四噸
▲收入 二、五七一圓

衛生功勞者 豊間村長表彰

石城郡豊間村長鈴木藤次郎氏は
平署管内衛生事務研究會創立に
奔走して以來幹事として多年衛
生事務の改善刷新に盡すところ
大なるによつて二十八日小田部
平署長から本箱一個に感謝狀を
添へて表彰された。

紺屋町區で 水害義捐金

平町紺屋町區では北滿洲及び北
海道方面水害狀況を知り町役場
余の増を示してゐる。

世界の名湯國立療養所の所在地
別府の天然家庭温泉

命の洗濯

一、温まる事は天然温泉と變りありません
一、萬病に靈驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で湯治の出来る重寶な家庭温泉
一、從來の溶劑を斷然優越せる新發見劑
一、石鹼の使用は出来る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化する理想的溶劑

疲勞回復 健康増進の鍵
病魔征服 傳染病豫防の武器

眞の温泉療法は—若葉の三四月から—夏に於て最も有効な時期です、是非御試用願ひます。

六回分 (二日使用 十二日分) 五十錢
十四回分 (同 廿八日分) 一圓
三十四回分 (同 二ヶ月八日分) 二圓

命の洗濯代理店 小野屋藥舖
電話一四四番

吸入用酸素II度 純度99%

モノサシ
マ ス
ハカリ
体温器
寒暖計

秤ノ取緒・錘系・修覆致シマス

關内藥局
電話四〇番

内科 小兒科 (入院應需)

藤沼醫院

平町紺屋町
電話平園五〇七番

近日賣出す發賣品は

一人前十五錢で満腹
平町三丁目

魚沼會堂

電話六三三番

和洋銅鐵金物問屋

久釜屋商店

諸橋久太郎
電話九九九番

かまぼこ 折詰仕出し

御惣菜用さつま揚 吉原揚

平町二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五番

病室完備 平町南町
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番
入院應需

心安積蓄 利低通融
三幸無盡
許免臣大藏大
社會盡無用信本湯
番七四話電

腸胃 內科 專門
十二指腸病 胃性病
村松 腸胃病
院醫科 町南町平
(七〇一話電)

梅毒 皮膚病 專門
婦人病
院醫科 町南町平
(七〇一話電)

計免臣大藏大 共有共栄
磐城無盡
儲蓄貯蓄 利息優厚 手續簡単

美神淋藥 試一週分 四圓五十錢
二週分 八圓

よのなく 口中香口水 懐中良藥
超仁 粒銀
懐中良藥 消化薬菌
美神淋藥 試一週分 四圓五十錢
二週分 八圓

一町一店主裁で 三三〇三〇五五五〇
販賣店 募集 大坂市南久寶寺町四丁目
照會アレテ手紙郵箱向レニテモス
返事ス 速セバ大損ツカメ此機會
本館 宮内善進堂
東京市銀座區高島町三丁目三番

氣人大然俄て入水香口中 懐中良藥
從來の懐中藥を斷然一蹴

印刷物は……加納活版所へ

角目丁五町平 局藥邊野山 店理代方地

三河産業博覽會 昭和産業博覽會 金牌受賞

かまぼこ 製造
折詰仕出し
儀式用

お惣菜用 さつま揚
吉原揚
平町一丁目
電話一四一四番